

## 第5次内灘町総合計画 基本構想（骨子案）

### 町民アンケート調査結果（資料4）

#### ◆町の住みやすさ・好感度

- ・住み良い+どちらかといえば住み良い：町民 61.1%、中学生 51.2%
- ・好き+まあまあ好き：中学生 90.7%
- ・評価：「医療機関」「自然環境」「日常生活」等の評価が高く、「通勤・通学」「道路の安全」「近所つきあい」等の評価が低い

#### ◆将来の定住意向

- ・住み続けたい/戻って住みたい：町民 64.6%、中学生 70.3%
- ・町外に移り住みたい：町民 11.9%、中学生 29.6%

#### ◆内灘町の自慢（上位3項目）

- ・町 民：内灘砂丘・日本海 44.3%、金沢医科大学病院 42.7%、静かな住宅街 25.9%
- ・中学生：凧の祭典・祭り 32.1%、内灘砂丘・日本海 24.4%、サンセットブリッジ 17.2%

#### ◆優先的に改善すべき取組

- ・障がい者福祉、社会保障（福祉）
- ・交通安全、防災、防犯（医療・安全）
- ・青少年教育（教育・文化・スポーツ）
- ・雇用場所の確保（産業）
- ・海岸・河川整備、公共交通（都市基盤）
- ・行政サービス、財政運営、広域行政（住民参加・行財政）

#### ◆内灘町が目指す像（上位3項目）

- ・町 民：安全なまち 53.4%、福祉が充実したまち 44.9%  
自然豊かなまち 33.5%
- ・中学生：買い物に便利なまち 58.3%、安全なまち 42.6%  
自然豊かなまち 37.0%

#### ◆将来の内灘町のイメージキーワード（上位3項目）

- ・町 民：住み良い 73.9%、安心 50.4%、美しい 17.0%
- ・中学生：安心 55.8%、住み良い 50.4%、豊か 38.8%

### 内灘町を取り巻く社会状況と課題

#### ◆人口減少や少子高齢化の進展

- ・高齢者福祉や子育て支援、教育環境などの充実
- ・豊かな自然や定住基盤などを活かした定住・交流人口の拡大
- ・高齢者や女性の人材活用

#### ◆産業の活性化と雇用環境への対応

- ・商工業や農水産業の振興
- ・新たな就業形態への対応、ワーク・ライフ・バランスの推進

#### ◆安全・安心のまちづくり

- ・交通事故や犯罪等が少ない安全で安心な環境の充実
- ・地域と一体となった防災力や福祉力などの強化
- ・老朽化ストックの適切な維持管理と有効活用

#### ◆豊かな自然環境（海・潟・緑）の保全

- ・自然や田園景観の保全、維持管理体制の強化
- ・リサイクルや省資源・省エネルギー等による循環型社会の形成

#### ◆教育の振興と将来を担う人づくり

- ・子どもの学力や規範意識、地域や家庭の教育力の低下
- ・家庭・学校・地域の連携による社会で活躍できる人づくり

#### ◆価値観やライフスタイルの多様化

- ・物の豊かさから心の豊かさへの転換、人と人とのつながりの変化
- ・近居や二地域居住等の新たな居住方法

#### ◆地方分権と住民の参画・協働の拡大

- ・地方分権の推進による地方自治体の権限と役割の増大
- ・多様な主体の参画によるまちづくりの進展
- ・選択と集中による財政基盤の強化

### 若手職員ワークショップ

#### ◆将来の内灘町のイメージキーワード

- 【自然】：自然豊か/水が豊か/水に囲まれた/海・空・砂丘人につながる内灘町/海がスキ！町がスキ！/マリントウン//翠/蒼/碧
- 【居住】：住み良い/住み続ける/ずっと住みたい町
- 【つながり】：人が集まる/人-絆-結-活気
- 【その他】：幸せを感じる/生まれる/子供がのびのび/welcome Uchinada/輝
- 【安心】：安全安心/だれでも安心/ほっと安心
- 【活力】：いきいき活性/元気活力

### 将来像と基本目標（素案）

#### 1) 将来像

『 ずっと元気に暮らせるまち  
マリントウン 内灘 』

#### 2) 基本方針

豊かな自然とともに、安全で快適に暮らせるまち  
都市基盤・防災・自然

地域の魅力を活かし、活力と交流が生まれるまち  
産業・観光

みんなで支え、安心して健やかに暮らせるまち  
福祉・医療・防犯

豊かな心と個性があふれ、みんなが輝くまち  
教育・文化・スポーツ

絆を深め、みんなで創る自立したまち  
住民参画・行財政

#### 3) まちづくりの視点

##### ○自然と共生した笑顔あふれるまちづくり

- ・内灘海岸や河北潟をはじめとする豊かな自然や閑静な生活環境、充実した医療機関などの本町の魅力を活かし、安全・安心で誰もが「住みたい、住み続けたい」と実感できるまちづくりを推進

##### ○多様な連携・交流が生み出す活気あふれるまちづくり

- ・近隣市町との広域交流や観光振興による賑わいの創出、人やもの、情報等のつながりによって生まれる地域経済の活性化など、多様な連携や交流促進により、活気あふれるまちづくりを推進

##### ○心豊かで思いやりあふれるまちづくり

- ・自助・共助・公助\*に基づき、地域づくりや人づくり、町民の積極的な参画と協働によるまちづくりを推進

※自助：個人、一人ひとりが自ら取り組むこと  
共助：地域や身近にいる人が一緒に取り組むこと  
公助：国や県、市町村の自治体が行うこと